

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学消化管外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2025 年 7 月

福島県立医科大学医学部消化管外科学講座 三村 耕作

■ 研究課題名

進行・再発胃癌におけるがん免疫療法後の摘出標本に関する腫瘍微小環境の検討
—化学療法単独との比較— (JFMC53)

■ 研究期間

2025 年 7 月～2028 年 3 月

■ 研究の目的・意義

現在、進行・再発胃がんの治療に nivolumab（ニボルマブ、製品名：オプジーボ）が使用されています。しかし、その治療効果は未だに限られており、効果を認めない病変に対する治療に難渋しています。

本研究では、nivolumab 不応病変におけるがん細胞と免疫担当細胞の特徴を免疫組織染色で検討し、nivolumab 不応となった要因の究明に努めます。本研究結果から nivolumab に対して抵抗性を示す要因が明らかとなれば、nivolumab の次に行うべき治療方法が分かることに加え、nivolumab の効果を増強する新たな治療方法の開発も進めることができます。本研究は、nivolumab を含む抗 PD-1 抗体の適応となるすべての悪性腫瘍に対して、新たな治療戦略の確立に貢献するものです。

■ 研究対象となる方

2015 年 1 月～2025 年 6 月までに、当院および下記の既存試料・情報の提供のみを行う機関において進行・再発胃がんに対して化学療法で治療された後に腫瘍切除術が施行された方。

■ 研究の方法

対象者の臨床情報（全身状態、副作用、血液検査結果、画像検査結果や追加された治療方法、予後など）を調べます。また、腫瘍切除標本を用いた免疫組織染色により、がん細胞と免疫担当細胞における免疫学的パラメータについて評価します。これらの情報と評価を基に nivolumab に抵抗する原因の同定に努め、その原因に関与する臨床所見について検討します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2025年8月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学消化管外科学講座であり、研究責任者は消化管外科学講座 三村耕作です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行 であり、それらの情報は共同研究機関で共同利用し解析を行います。全ての共同研究機関とその研究責任者、および既存試料・情報の提供のみを行う機関とその提供する者の氏名は次のとおりです。

【研究組織】

研究代表者	福島県立医科大学消化管外科学講座 准教授 三村 耕作
共同研究機関 研究責任者	公益財団法人 がん集学的治療研究財団 武藤 賢

< 既存試料・情報の提供のみを行う機関 >

機関名	既存試料・情報の提供のみを行う者
大阪公立大学医学部附属病院	三木 友一郎
岡山大学病院	香川 俊輔
岐阜大学医学部附属病院	松橋 延壽
京都府立医科大学附属病院	西別府 敬士
滋賀医科大学医学部附属病院	貝田 佐知子

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当なし

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部消化管外科学講座 担当：三村 耕作

電話：024-547-1259 FAX：024-547-1980

e-mail：kmimura@fmu.ac.jp